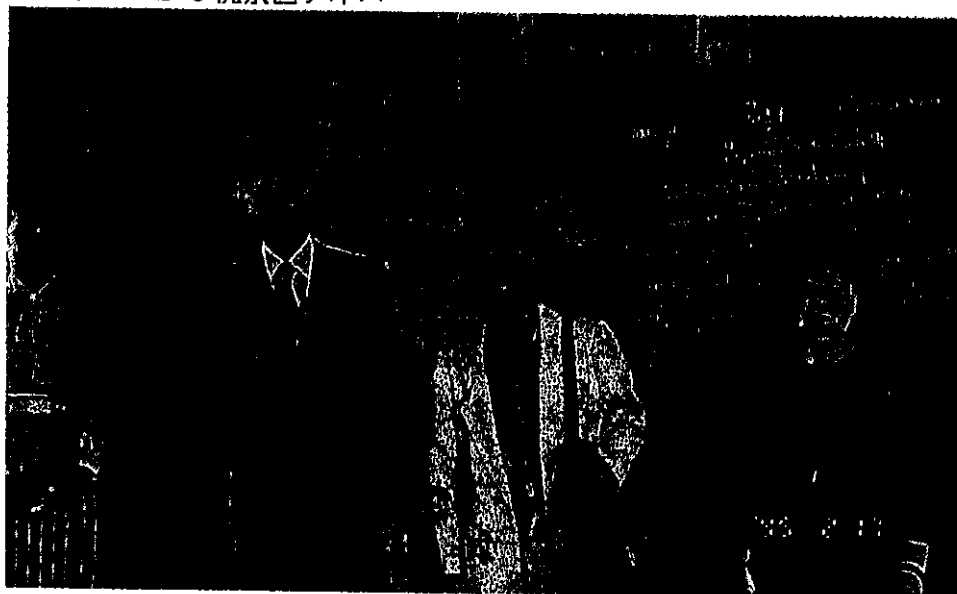




## J ADDO視察団ラオスへ



1995年2月16日～20日、J ADDO視察団をラオスに迎えました。メンバーは次の4名でした。

J ADDO副会長	帖佐宗親
監事	若松郁子
会員	帖佐久子
会員	若松裕子

写真; 左からホンケ小学校の校長先生、帖佐宗親氏、若松郁子氏、帖佐久子氏

- 16日 ビエンチャン到着
- 17日 ホンケ小学校視察  
現地スタッフと会合
- 18日 タラート小学校視察
- 19日 ドンカルム小学校
- 20日 ビエンチャン発

連日視察のスケジュールに未舗装道路を4輪駆動での移動、強い日差しなど視察団の心身に負担をかけてしまいました。この視察でJ ADDO会員の存在といえますかラオスのことを思ってくれる日本人がいるのだとラオスの人たちに実感してもらえたようです。

## ホンケ小学校 衛生教育視察

ビエンチャンの町の中心地にあるホンケ小学校の衛生教育を視察。

下痢の時の対応(経口補水液をのむ)と経口補水液の作り方(米と塩を使って作るもの。ユニセフの指導による)を帖佐理子J ADDO会長がラオス語

と英語で説明。英語の部分はホンケ小学校PTA会長に通訳を頼みました。

ラオスで作ってもらったラオス語の説明と写真つきのポスターは学校に1枚しか持って行けませんでした。校長先生が同じように描いて各教室に貼りましようと言ってくださいました。

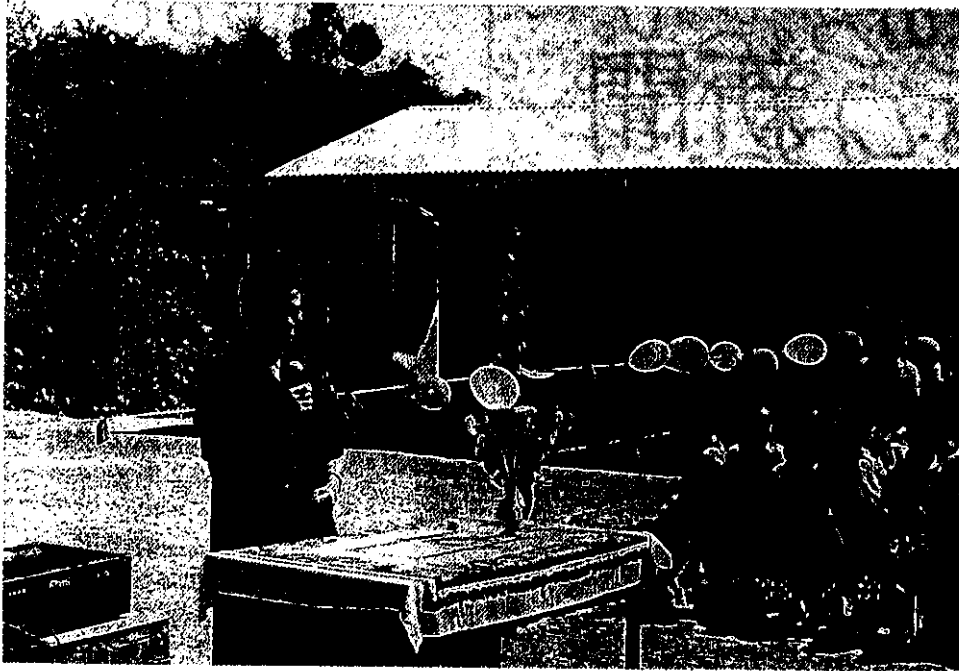


写真,  
「今、下痢してる子は手を挙げて。」に答えて挙手している子供たち。健康調査の時に90人中22人(24%)が下痢をしていました。

下痢による脱水で命を落とす乳幼児も多いです。

# タラート村小学校 井戸、トイレ、図書室兼職員室 の 完成式

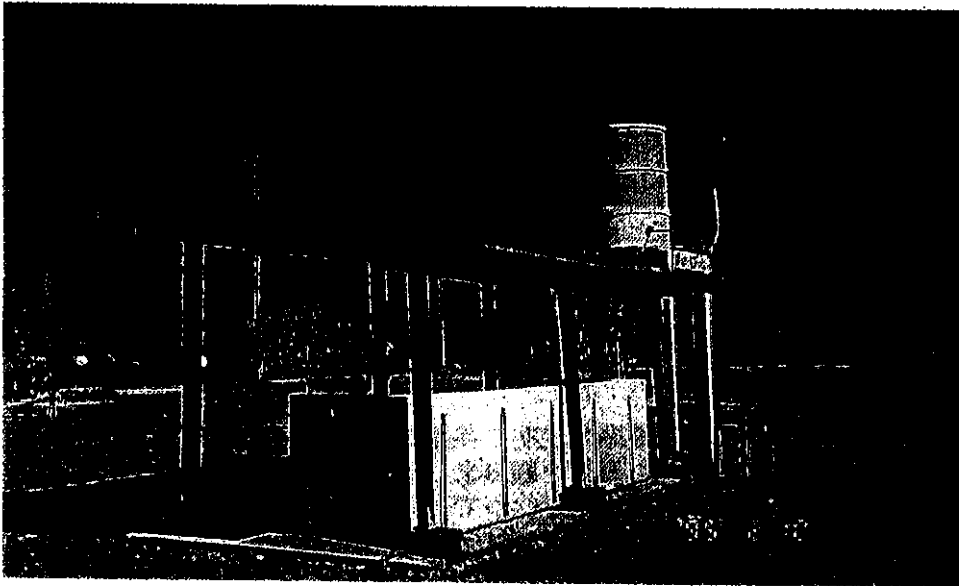
1995年2月18日



小学校の児童、先生方の他にPTA関係者、それにこの地方の郡知事、教育長まで参加しての大がかりな式典でした。

式典の様子はラオステレビで放送されました。

知事さんが祝辞を述べているところです。左側の2つのドアのある建物がトイレで、右側が図書室と職員室のある建物です。JADDOからの寄付であると屋根からの幕と建物入り口のはり紙に書いてあります。



井戸は右手の壁の下にあります。ポンプでドラム缶に汲み上げて水のみ場で使用します。井戸研究所の検査でこのまま飲料に使って問題の無い水とのことでした。



視察にあわせてJADDO会員（馬場寛利様）から届いた鉛筆等の文房具を渡しました。また、視察団からはバトミントンの道具、サッカーボールのプレゼントがありました。

お礼の花束を受ける視察団（若松裕子氏と帖佐宗親氏）